

■ 特集

研き究める 一知をみかく醍醐味—  
座談会 『研究の面白さを語る』  
畿央大学 卒業研究への取り組み

■ シリーズ VOICE

■ シリーズ 私の先生・私の教え子



## 広陵町×畿央大学「KAGUYAプロジェクト」 “Keeping Active across Generations Uniting the Youth and the Aged”

畿央大学の地域密着型研究プロジェクトが、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に奈良県で初めて採択されました。今後5年間の助成を受け、広陵町の健康に強いまちづくりに協力します。

若者と高齢者が一丸となり、世代を超えて、住民が元気でいきいきと暮らせるまちづくりをめざして、地域での介護予防リーダーの育成、健康支援学生チームの学内外での活動、健康データを一元化するデータベースの構築等を行います。



2015年10月2日(金) 広陵町×畿央大学「KAGUYAプロジェクト」記者会見

特集

みがきわ  
研き究める

— 知をみがく醍醐味 —

「知をみがく」人間の進歩向上とは、自己の才能を最大限に練磨することである。知識欲を失えばただ退歩あるのみである。私達はあくことなく頭脳を磨き、励まし合い、研究的な態度を養成したい。

座談会

冬木学園の建学の精神の一つに掲げる「知をみがく」。その実践として、畿央大学における研究活動があります。研究者としての実績を積み重ねて来られた先生方にその面白さ、感動を覚えた瞬間、そして先生にとって研究とは何かなどについて話し合っていました。



— まずは、先生方が研究を始めたきっかけや、これまで取り組まれた研究内容について教えてください。

**山崎** 私は、実践研究に取り組んでいます。具体的にはアクションリサーチという方法で、グループホームで実際に介護職と看護職の方々がどのように連携をはかれば終末期ケアをより充実して進められるかを研究しています。

この研究を始めたのは、家の前に高齢者のグループホームがあり、どのような施設なのか興味を持ったことがきっかけです。10年前、私が大学教員になったばかりの頃は、看護師も認知症と言葉を聞きませんでしたが、グループホームのスタッフの皆さんと認知症をはじめ、いろいろなことを勉強していきましよう、となりました。



冬木学園 理事長  
畿央大学 副学長 冬木 正彦  
専門：教育システム情報学  
教育と学習を支援する情報システムの開発と運用に関する研究

ですから、このテーマを探究したいというより、必要に迫られて始めたのが正直なところですよ。

**森岡** 私は、卒業研究から研究を始めて25年ぐらいいになります。もともとは理学療法士で臨床をしていましたが、当初は内部障害の方々がなぜ運動の耐久

いとなぜ食べ過ぎてしまうのか」といった日常的なテーマに取り組んでいます。学生の皆さんもそういったことに興味を持ってくれているので、楽しみながら研究に取り組んでいます。

**東** 私は大学卒業後、企業で建築士として働いていましたが、出産を機に離職しました。その後、母校の大学に手伝いに行ったのが研究の道に入るきっかけです。最初は資料やデータの整理などをしていたのですが、研究に打ち込む教授の真摯な姿に感銘を受け、研究と一緒に進めたいと思いました。その時取り組んだのは、木材保存のために使用する防腐剤の気中濃度の測定法や住居管理に関する研究です。その後は、化学物質が室内空気質に与える影響に視点が移りました。

**金子** 私は大学卒業後、半世紀以上にわたって研究を続けてきました。私も山本先生と境遇が似ていて父が医者だったので、何の疑いもなく医学部に進学しました。ただ、高校時代から物理や数学を研究したいという気持ちが強かったため、在学中は先生方の研究室を訪ねて、いろいろな実験を手伝っていました。特に生理現象を電気信号としてデータを取って解析する「電気生理学」に興味を持ち、卒業後はその実験をされている先生の研究室で研究



健康科学部 学部長 金子 章道  
専門：神経生理学、感覚生理学  
視覚を中心に、網膜における光受容と視覚情報処理、網膜の神経回路を研究

— 先生方にとって、研究で喜びを覚えた瞬間、研究の面白味とは何ですか。

**前平** 私は大学院に入りましたが、アカデミズムの研究がイヤになり、欧州へ放浪の旅に出ました。といっても、自分の極めたい研究があったので、フランス滞在中は、文献資料が充実している「フランス国立図書館」に朝9時から夜10時まで通って資料を読みあさりしました。そこには当時の有名な思想家だけでなく、学者ではないような人も勉強していて研究のすゝき、面白さを知りました。

その後、教授の勧めで国際公務員になりましたが、結局大学院に戻り、生涯教育の研究を始めました。これは大・学・学問批判を取り入れた分野。伝統的な学問ではないので居心地がよさそうだと思ったのです。私は、今日集まられた先生方の中では唯一文系の研究者ですが、とはいえ、アクションリサーチをされている山崎先生の研究に近いかもしれませんね。

性が落ちるのかという研究をしていました。その後は姿勢バランス、運動制御を経て、今は高次脳機能障害、特に半側空間無視や身体失認の病態の解析、それに対する効果的なアプローチの開発をしています。これまでさまざまな研究をしてきましたが、臨床現場とかけ離れないよう心がけています。

**山本** 私は約40年間、研究を続けています。学生時代は、父の歯科医院を継ぐうと思いい、大阪大学の歯学部に進学しました。しかし、卒業時はまだ父が現役だったので、研究をしようと思いい、この道に入りました。

最初に取り組んだのは、「砂糖はなぜ甘く、塩はなぜ塩辛く感じるのか」という味覚のメカニズムの研究です。今は「別腹はなぜできるのか」「美味し



教育学部 学部長 前平 泰志  
専門：生涯教育学  
子どもから大人まで生涯にわたる教育を自己教育の時間という視点から研究

**金子** 知らないことを自分で考え工夫し、解決できるというのが研究の醍醐味だと思います。

私が取り組んだ代表的な研究は、ふたつあります。ひとつは、視細胞に光を当てるとどのような反応が起こるかという研究です。それは世界中の誰も知らないことだったので、さまざまな工夫をして実験を繰り返しました。しかし、ようやくデータが取れても、それが視細胞から取れたものだと証明しなければなりませんから、また工夫をしました。その過程はとても苦しく、無駄な努力の繰り返しのように感じましたが、だからこそ、成功した時は感動的でした。この研究は私の学位論文になり、指導教官は紫綬褒章を受章されたので喜びも大きく、印象に残っています。

もうひとつは、物の輪郭がはっきり見える時、目の中で何が起こっているのか、という研究です。2003年に最初の論文を出しましたがなかなか認められず論争をしていましたが、2014年、アメリカの研究グループによって私の主張が正しいことが証明された時は本当にうれしかったです。

**冬木** 私にとって研究の面白味は、「わかった！」と思える瞬間にあります。今でも不思議なのですが、それまでは

単なる文字にしか見えなかったプログラムの中間の変数「X」が、ある瞬間に浮かび上がったのです。モノとして見えたのです。その時、オブジェクト指向のモデルが「わかった」と思いました。金子 アルキメデスは比重を量る方法を考えていた時、風呂で自分の体が軽くなっていくのを感じ、「ユリイカ(わかった!)」と叫んで、風呂から飛び出していった話は有名ですね。これから研究を始める若い人たちには、この「わかった!」という気持ちを味わってほしいと思います。

**森岡** 私が脳の研究を始めたのも、まさに閃く瞬間があったからです。それまで理学療法の臨床やその基礎科学は筋骨格系を中心に語られていました。私自身もバイオメカニクスという分野でデータを定量化する研究にこだわっていました。しかし、筋力がついても姿勢バランスが改善しない患者さんが多くいました。それを境に私の持論は「光の当たるところで鍵を探しても見つからない」に徐々に変化し現象を大切にすることを志向していききました。今ではわからないことを説明するには、常に光の当たらない所に目を向ける必要があると考えています。



健康栄養学科 教授 山本 隆  
専門：生理学、神経科学、味覚生理学  
味覚に関するヒトの脳の機能、日本食における「おいしさ」と「こく」の科学的解明をめざす

それを実感したのは、家族サービスと称して毎週のように動物園に行つて



理学療法学科 教授 森岡 周  
専門：神経リハビリテーション学、認知・行動神経科学  
中枢神経障害に対するニューロリハビリテーションを研究

いた時のことです。私は姿勢バランスを研究していた関係から、たいてい何時間もフライングを見ていたのですが、そのうち「彼らの肢は臆しかないのになぜ1本肢でうまく立つていられるのだろう」と疑問に思うようになり「だ!」と閃き、飼育員さんに調べさせてもらえようと思った。その後鳥を調べてみると小脳が相対的に大きいなどいろいろなことがわかり、その後5年かけて、フィールド調査に出向き2歳〜92歳まで1200人ほどの足裏の二点識別と姿勢、バランスの関係を調査し論文を書きました。おかげさまでこの研究は多くの賞をいただき今なお多く引用されています。まさに、理学療法とはまったく異なる動物園という場で閃く瞬間があったわけですね。

**前平** 私の専門は生涯教育ですが、この分野にスポットライトが当てられ始めたのは今から40年ほど前ですから、それまで生涯教育という言葉はありませんでした。しかし今は、日本人で「生涯教育」を知らない人はほとんどいません。研究の醍醐味は、自分が必死に考えてきたことが、次世代で当たり前になる点にあります。時間を超えて何かを動かしていくことに面白さを感じています。

わかるという営みは、冬木学園が建学の精神に掲げる「知をみがく」の中にある「研究的態度を養う」ことだと思えます。金子 研究というと高尚なことのように思えますが、そうではなく、人間誰しもが持っている「なぜだろう」という疑問に対する答えを見つけることだと思えます。子どもは「あれは何?」「これは何?」と頻りに質問を投げかけますが、その疑問を説明することが研究だと思えます。

**森岡** 研究とは、自分自身のバイアスを外すことだと思っています。たとえば、これまでではできるだけ意識させて学習させることが教育の美德だと考えられていました。私もそう考えていました。しかし、今は意識していない時間も学習にとっては大切だと考えられています。意識していないプロセスで人間の脳はどのように学習していくのだからかと、違う視点を持つことによつて、これまで解決困難だと思われていたことが解明できるのではないかと考えています。

また今は二者間でのインタラクティブとかエンパシーとかが科学で解明できるようになっているので、そうしたどちらかといえば潜在意識の分野にもこれから取り組みたいと思っています。



人間環境デザイン学科 教授 東 実千代  
専門：住環境学  
室内空気環境や住環境の快適性について研究

そう考えるとワクワクしますね。金子先生がおっしゃる「子どものような感性」を大事にしていきたいです。このことを常に意識できる人は、ずっと研究にとり憑かれるのだと思います。大人のように「すべてわかっている」という人は、研究を止めてしまうタイプですね。

**山本** 私は若い頃からずっと研究をしてきたので、私にとつて研究とはルーティンで、やるのが当たり前と思ってきました。そのモチベーションとなっているのは、やはり「解明したい」という気持ちです。

さらに、あえて言わせてもらえば、「研究とは競争」という気もしています。私たちの領域では世界中にライバルがいて、彼らに負けられないという気持ちで今まで研究に取り組んできました。長い研究生活を経た今でも、追われるような苦しい気持ち、そして負けたくないという気持ちはあります。

**東** 研究とは何か。その答えは見つけれないのですが、今日、ベテランの先生方が嬉々として過去の感動を語られる様子を拝見し、研究を続けていくと私もそういう経験ができるのかなと希望が持てました。正直なところ、研究に取り組みながら日々模索している状態です。たとえば現代は、快適性を求めて住環境が変化しつつありますが、このまま快適性を求め続けるとどうなるのだろう、暑くもなく寒くもない一定の環境が本当に人にとつて快適なのだろうか、と思います。最近では、自動運転が可能な車がつくられ、人の手でやってきたことが機械に置き換わりつつあります。このまま快適になり続ける、今度は不都合が付加価値になるのでは、と考えることもあります。

**山崎** 私も東先生と同じ考えで、「看

**東** 私は当初、知りたいことがあつて研究をスタートしました。でも、探求すればするほど解明できることよりも、解明できないことが増えていくのです。それが意味、研究の面白味であり、やめられなくなるポイントと思つていきます。

**前平** 研究には常識を壊していく面白さがあると思います。私が研究で快感を覚えるのは、自分の研究成果が、世間の常識や偏見、先入観などを突き崩していく時です。

ただ、私の場合は、教育と研究が一体になった「教育学」を研究しているので、面白味がある反面、困難さもあります。研究したことを教育現場に取り入れ、その結果を研究に持ち帰りやすから、教育と研究は切り離せないんです。正直なところ、研究より教育の方が断然面白いと感じています。教育は一種のライブで、すぐに学生から反応が返ってきますから。

**山本** 私は、研究には工夫する楽しさがあると感じています。以前、動物の細胞記録は、麻酔下動物から取るのが一般的なでした。しかし、その状態を得られるデータは非生理的な現象なので、動いている動物からデータを取るための工夫をして、大脳皮質の味覚野から記録を取ることに成功し、論文を書きました。それまでは失敗の連続でしたが、ある国際学会で発表し評価を得たことが自信につながり研究への意欲に結びつきました。この経験から、いい仕事をし、いい論文を書くことがいい評価につながり、喜びになるのだと感じました。

最後に、先生方にとつて研究とは何か一言ずつお願いします。

**冬木** 私にとつて研究とは、生きることの原点だと思います。なぜかを考え、



看護医療学科 教授 山崎 尚美  
専門：老年看護学、認知症ケア  
認知症高齢者の終末期ケアやグループホームの介護職と看護職の連携を研究

護の現場で実際に行われる日々のケア、看護は正しいのだろうか」と思っています。学生時代に学んだことと現状は異なるので、今は実践知を明らかにしていくことが私の研究の使命だと思っています。その中で、自分の領域だけでなく、複合的に研究を進め、メンデルの法則のように広がっていけば素晴らしいし、そうなることを期待しています。

**前平** 私にとつて研究とは、現在という時間を超えようとする試みです。教育には、今を生きていると実感できる喜びがありますが、研究には、まだ見えない人とエールを交わす喜びがあります。それは「ひょっとしてこの研究成果に、次世代の人々が共感してくれるかもしれない」と思うからです。そのように時間が評価してくれる研究を続けたいと思つています。

**森岡** 確かに、論文や書物は時間を超えて残りますよね。私は今でも夜を徹して論文や本を書いたりしていますが、何のために書いているのかという、そういうことが潜在的な意識にあるのだと思います。自分の命がなくなった後、世に継がれていくものを残すことは、まさに研究者として、そして人間としての価値でしょうね。——本日はありがとうございました。

卒業研究への取り組み

理学療法学科 学生ならではの発想を活かして

理学療法学科では3回生の後期にゼミがスタートしますが、各ゼミへの学生配置は前期の中頃に発表されます。本学科の学生は3回生の終盤3月から4回生の夏休み前までほぼ途切れなく臨床実習に行くために、多くのゼミの卒業研究テーマは臨床実習開始前に決められます。ラットなど動物を使用した基礎研究系では実験期間との関係から学生配置確定後すぐにゼミ活動が開始される場合もあります。臨床実習期間中の約6ヶ月は卒業研究を進めることが難しいため、例年、4回生の夏休み期間中(8月末頃から)は研究データ収集や解析作業の追い込みで運動機能実習室などは熱気にあふれています。

卒業研究は実験動物などを用いた基礎系の研究からスポーツ分野、心理学領域から地域高齢者や小学生を対象としたフィールド研究まで、非常に多彩なテーマで行われています。卒業研究の成果は例年、4回生の11月初旬に冬木記念ホールにて学術大会形式で開催され、学生同士または教員と熱いディスカッションが繰り広げられます。卒業研究発表会が終わると、一週間後には卒業論文の提出期限がやってくるため、発表会での質疑応答を参考に抄録として形にするものになります。



また、毎年いくつかの卒業研究の成果はその後さらに発展させた形で学術大会に挑戦することがあり、年一回春に開催される日本理学療法学術大会は卒業

業後にお互い演者として再会する場にもなっています。

私のゼミでは地域高齢者の健康増進・介護予防・転倒予防などをテーマとしており地域に出



て研究を行うフィールド研究を中心としています。実際の介護予防教室に向いて研究を行うことは、データ収集のタイミングが限定されることや、主体である各自自治体の担当部署とのコーディネートなど難しい面もありますが、その分やりがいを感じ、共に実感できるため、今後もこの方針で取り組もうと思っております。学生達が自ら考えた研究テーマを、実際の現場に出て、対象者となる地域高齢者の方々に説明しながら体力測定や結果のフィードバックを行うことは高いコミュニケーションスキルが必要とされる場合もあります。ですが、これらの経験は卒業後に様々な現場で働く時に必ず有益なものになるのではないかと考えています。地域の方々からは卒業研究への協力は暖かく受け入れて頂く場合が多いですが、時には叱咤激励して頂きながら指導教員である私も貴重な体験をさせて頂いています。

今まさに3回生ゼミでは来年度の研究テーマを考える時期に来ており、毎週のゼミでは活発な意見交換が繰り広げられています。学生達が発案するテーマは現実離れしたものもありますが、学生ならではの自由で柔軟な発想を指導教員としてなるべく拾い上げ、具体化するよう奮闘していきます！

(理学療法学科 准教授 高取克彦)

看護医療学科 卒業研究の意義は思考力の育成

看護医療学科では、学生は3回生前期で必修科目「看護研究基礎論」を受講し、文献検索方法など研究方法のイロハに関して学び、その後、3回生後期から領域実習に出て研究テーマを見つけられるようにしています。卒業研究は4回生前期必修科目ですが、実質的には3回生の12月にゼミ配属希望調査票を提出し、年明けに配属ゼミ先の発表があり、これを機に卒業研究ゼミがスタートします。看護医療学科では卒業研究の方法は文献研究とし、実験や調査は認めています。これには賛否両論あるものの、学生が考えるテーマにはほとんど先行研究があること、実験・調査の訓練を十分に受けていない学生が臨床で調査・実験を実施すること、対象に不利益を与える危険性があること、倫理的な面からも総合的に判断して、文献研究を行うことにしています。学生の選ぶテーマは多岐にわたっていますが、終末期ケアや小児そして認知症に関連するテーマを選ぶ学生が多く、こうした対象を研究する場合は、より倫理的配慮が必要となります。



なお、一人の教員がおよそ4〜5名の学生を担当しますが、ゼミで実施される活発な議論が学生の知的好奇心を活性化します。特にゼミ仲間と文献をクリティークすることで、読む力・考える力・語る力・聞く力は格段に鍛えられま

す。そして、論文執筆においては、教員から直接指導を受けることで、論旨の飛躍や整合性のなさ等に気づくことができます。学生は卒業研究を通して、自身の考えを論理的に展開することを学び、それは文章力だけではなく思考力の育成にもつながります。卒業研究の狙いはまさに「ここにあると言えるでしょう。医療現場は日々変化しており、質の高いより良いケアを提供するためには、研究は不可欠です。将来、感性豊かに「おや、これで本当に良いのか？」と疑問に感じ、それを探究・研究する、知をみがくことができる力身につけて欲しいと思います。本学はチーム医療を実践できる人材育成をめざしていますが、異なる専門の人にも自分の考えを論理的に説明できる力、コミュニケーション力を身につけて欲しいと願っており、その点でも卒業研究の果たす役割が大きいです。

卒業研究を在学中あるいは卒業後に学会発表する学生もいますが、正直なところ多くの学生は、卒業研究終了直後には達成感はあるものの、その意義に関して在学中に実感はしていないと思います。しかし、卒業研究の意義は、卒業後に臨床に出てから実感しているようです。実際、卒業生が来校時に、卒業研究で調べた文献をもとに質問紙調査を実施していることや、卒業研究で学んだことが非常に役立つこと、卒業研究のテーマは一生のライフワークとなっていることを語ってくれます。看護医療学科の学生は、実習や国家試験の準備と並行して卒業研究を実施することになり、負担はかなりあります。しかし、その負担以上に得るものは大きく、卒業研究は学生を確実に成長させてくれるものと信じています。

(看護医療学科 学科長 教授 河野由美)

卒業研究への取り組み

健康栄養学科 卒業研究で大きく成長する学生たち

健康栄養学科の卒業研究は4年生から本格的にスタートします。卒業研究は選択制で実施していますが、多くの学生が自主的に卒業研究に取り組み、国家試験の勉強、就職活動を並行して進めています。ハードな日程の中でも研究成果を立派にまとめ上げ、研究活動を通じて、ゼミ生同士が助け合い、友情が深まっていくのも卒業研究の魅力だと感じています。研究テーマは「希少糖アンヒドロ糖類の機能性と利用」「奈良県産植物性食品に含まれる機能性成分に関する研究」「糖脂質代謝異常に依存する生活習慣病の予防・改善効果の検討」「運動前後の栄養管理に関する研究」などがあり、健康・栄養・食品に関する分野の多くの問題の中から研究課題を設定しています。

研究を進める過程を通して研究計画の立て方、効果的な文献検索・解析の方法、実験・調査の進め方、研究成果の整理の仕方、発表要旨・論文の書き方、スライドの作成方法、発表の仕方などを総合的に学習します。学生には研究課題にどのように取り組み、取り組む中で発生した新たな問題にどのように対処し、そしてどのように結論を導き出すかを、自主性と積極性を持って体験して欲しいと話していますが、学生は見事に期待にこたえて取り組んでいます。実験・調査を進めていくと学生が思ったような結果が出ないこともあり、休日に来て実験を行うことや、調査結果の分



析に遅くまで大学に残ることなどもあります。が、最後まで真剣に取り組む、研究成果を上げています。研究成果は11月に冬木記念ホールにて口頭発表を行います。発表時間は質疑応答を含めて1テーマ当たり約10分です。本格的なホールの壇上で、多くの聴衆の前でプレゼンテーションをする貴重な経験を積むことができています。発表前は緊張した表情をしていた学生も、壇上に立つと説得力のあるプレゼンテーションを行っていました。これは研究に対して時間をかけて丁寧に取り組み、努力を重ねてきた成果だと感じています。また、卒業研究発表会の運営は全て学生が行っており、発表会のプログラム作成、要旨集の印刷、前日リハーサルの準備、当日の受付、司会、タイムキーパー、質疑応答の進行など、会の進行に必要な仕事を全て学生が担当します。学生が主体となり卒業研究の発表の場をつくり上げています。栄養指導の場ですぐに活用できる成果や国内外で初めて報告される研究など、学会ですぐに発表できる高いレベルの研究に取り組んでいて、本年度は日本栄養改善学会近畿支部総会で卒業研究の成果の発表がありました。

発表した研究成果は論文としてまとめ「卒業論文集」として製本して配布されます。卒業研究を終えた学生からは「充実感があつた」「大変だったけど研究に取り組んでよかった」などの意見を聞くことができ、卒業研究を通して得た貴重な経験と知識が社会に出てからも役立つことと思っています。

(健康栄養学科 准教授 永澤健)



人間環境デザイン学科 創る楽しみと産みの苦しみ



人間環境デザイン学科の学生は、4年生になると同時に卒業ゼミの指導教員を選択し卒業研究をスタートさせます。各教員は最大8名の学生の指導を行います。本学科では専門分野が広範囲にわたり、また「卒業制作」か「卒業論文」どちらを行うかの区分もあるため、学生の教員選択は即ちテーマの選択にも繋がります。教員ごとの具体的な指導テーマ例は以下の通りです。

- ・制作：都市・建築設計、インテリア設計、ファッション・プロダクトデザイン
- ・論文：建築環境工学、住環境学、高齢者と住環境、色彩学、生活科学、被服学の学びの集大成となります。論文を書く者は、これまでに得た知識や思考力を総動員して、新しい知見を得ることに力を注ぎます。制作を行う者は、それまでの各分野の演習が課題への回答案の作成であったのに対し、初めて作るべき対象自体を自ら考案する創造的行為に挑みます。

私の専門は建築設計なので私のゼミ生のテーマは建築設計となる訳ですが、彼らを例に卒業研究の進め方をお話ししましょう。

前期のうちは、主に計画地や設計対象物(どんな種類の建築を設計するのかと、その設計コンセプト(その建築がどうあるべきなのか)の策定を行います。この段階では、「社会にとって何が必要なのか」「その建築は未来に向かってどう変わってゆくのか」「美しい建築とはどのようなものか」云々、建築そのものだけではなく社会学から哲学までの幅広い思考が要求されます。

夏休み頃からは、エスキース(構想のためのスケッチや模型制作)の繰り返しが始まります。策定したコンセプトが表現されていることは勿

論重要ですが、対象が建築である以上、人が心地よく使用でき構造的にも成立すべきなのもまた当然で、簡単には結果にたどり着けません。何度も何度も書いては消し作っては壊し、まさに産みの苦しみの期間です。

設計がようやく完成すると、最後は成果物(プレゼンテーション)の作成です。折角優れた案ができて、プレゼンテーションが稚拙では人には伝わりません。多くの者は、図面(設計図)を描きその模型を作ります。熱心で優秀な者ほど精密かつ大掛かりな物を作ることとなり、人にもよりますが、長いと2ヶ月以上にわたる徹夜を重ねるのを忘れて制作に没頭します。なおこの作業には、多くの卒業制作を行う他大学同様、下級生が手伝いを行います。この手伝いによって制作技術の下級生への伝承が行われ、未だ新しい本学科でも年々卒業制作のレベルが上がってきたことは、嬉しい結果です。



完成した卒業研究は、学科教員全員による成績判定を経た後、学外での『卒業研究・作品展』で発表されます。心血を注いだ成果物を、同級生・同窓生や保護者は勿論、一般の方々にも見て頂ける機会があることは、卒業研究遂行の大きな励みになっていると思います。

優秀賞入賞を果たし苦しかった日々が全て報われた学生もいます。必死で取り組んだのに上手く成果が出せず涙を呑んだ学生もいます。もつとやれば良かったと最後に後悔した学生もいます。しかし全ての学生にとって、卒業研究で経験した思考や努力が、これからの人生への二つの道しるべになるであろう事を信じています。

(人間環境デザイン学科 教授 藤井豊史)

※2015年度「卒業研究・作品展」は、2/27(土)28(日)です。(裏表紙参照)

卒業研究への取り組み

現代教育学科 自分で決めて、楽しく学ぶ、卒業研究

私のゼミでは、大学教育の集大成として卒業研究に取り組みます。教養のある社会人の形成を目的としていますので、自律性・自主性を重んじています。

全体的な流れは、2回生の11月下旬に学内掲示板に掲載された各教員の指導テーマ例を見て興味のある教員と話し合い、1月中旬のゼミ登録会で取り組みたいテーマと希望する教員を8人まで順位を付けて書き、そのテーマとGPA得点で所属ゼミが決定されます(教員1名の受け入れ学生数は最大10人)。その後、3回生前期から各自の卒業研究論文のテーマを決め、学習し、研究したことを発表します。そして4回生の1月上旬に卒業研究論文を提出したのち、主査(指導教員)と副査とで執り行なわれる口頭試問を受けて、評価を受けます。

テーマの設定方法には、特定の事象に焦点を当てることが大切です。大きく分けると2つのやり方があります。自身が一番に面白いと感じることに焦点を当てるやり方(興味中心主義)と、自身の「将来の仕事」に役立つであろうことに焦点を当てるやり方(仕事中心主義)のいずれかで考えることを勧めています。各教員の提出するテーマ例は前述のように掲示板に11月下旬に張り出されますが、もちろん、それ以外のテーマが可能な場合もありますので、希望する教員にそのテーマで卒業研究を取り組むことが可能かを相談します。

各ゼミでのテーマは、担当教員の専門分野の影響もあって、特徴があります。私のゼミの学生は、死生観、やる気のつくり方、スクールカースト、表情の意味と効力、人間関係、自身の抱えている問題(強迫性障害など)の哲学的・心理学的なテーマを好む傾向があります。卒業研究論文には、探求心と論理的・一貫性と当事者性が必要とされます。それにオリ



ジナル性があれば、尚更に好ましいです。探求心とは、焦点を当てたテーマの下に、たくさん論文や著作を読むとともに、「誰が、何故、如何に考えているのか」について根拠をもつて読み解いて行くことです。論理的・一貫性とは、様々な研究者の主張や議論を自身の中で論理をもって一貫性のある方法で解釈し、自身のなかに取り入れて、まとめて行くことです。当事者性とは、「君自身はどのように考えるのか」をゼミ担任から問われ、自身と向き合い、「自身の考えていること」を明確に理解することです。それは「自身を知る」ことに繋がります。自身を抜いた理論化には妥当性がありません。卒業研究に必死に取り組んだ学生は、一点に集中する学びの真剣さを味わい、成長できます。制約のある時間とエネルギーのなかでの学びを通して、時間とエネルギーを考慮に入れて、自身のプランを構築できるようにになります。つまり、未来を展望し計画する能力がつくのです。

教員採用試験や就職活動を力の限りに頑張った終了した後に、多くの学生は力を使い果たして何もしたくない状態となりがちです。その状態の学生に適切に働きかけ、卒業研究への意欲を引き出すことが教員の課題となっています。

(現代教育学科 教授 中城進)

助産学専攻科では、継続ケースのケーススタディ(事例研究)を卒業研究としています。一人の妊婦を妊娠・分娩・産後1か月まで継続して受け持ち、助産ケアを展開し、次のように非常に深く関わります。

助産学専攻科 助産学生が継続事例で研究する意義



継続ケースの選択は、担当教員や実習施設の指導者が学生と妊婦の状況を考慮して慎重に選択します。産婦人科領域はプライベートな部分もあり、学生の受け持ちを断られることも多い中、快諾してくれる継続ケースとの関わりは貴重な学びの機会となります。受け持ち期間は4〜5か月間と長期であり、この間に信頼関係を築き、安心で安全な分娩という目標だけではなく、妊娠期から家族で計画したペースプランを可能な限り実現し、家族にとつて満足のいく分娩へと導かなければなりません。学生は、妊婦健診毎に継続ケースに必要な保健指導を実施しますが、その指導案は教員や指導者から助言を受け何度も修正をして、どうにか指導できる内容となります。分娩になれば休日夜間でも学生は実習施設に行き、産婦の側でマッサージや分娩促進のケアと分娩介助をします。その後も退院するまで毎日必要な保健指導や助産ケアをします。おそらくほとんどの助産学生は、この間は十分な睡眠をとることなく過ごしています。

学生は、継続ケースが正常で順調に経過するか否かは自己に責任があると感じており、継続ケースとのかかわりは、身体的にも精神的に

も非常に厳しいですが、その分、得る学びや達成感も大きいのです。教員や指導者は、学生の達成感や産婦の満足感が得られるように、上手く関係性を構築できるように導いていきます。

学生が継続ケースを受け持つ意義は、個別性を理解し助産診断の展開とケアの実践にあります。それが、それ以外に生命の尊厳や夫婦や家族のあり方、助産師としての責任感や判断力などを養い成長できる機会にもなっています。卒業研究では、このような継続ケースから、実践を通して学んだことがよりよい助産ケアになったのか検証し、考察していきます。慌ただしく過ぎる一年間の集大成として、じっくり継続ケースを振り返りケーススタディとしてまとめる時間は、国家試験後から研究発表までの一週間くらいしかないのが現状です。学生の学びは多くありテーマを絞ることが困難になるので、教員がヒアリングしながら学生の思いをフォローし、学生の能力を引き出すことに、教員の指導力が発揮されます。その反面、教員個人の考え方で左右しないようにしなければなりません。指導する中で、学生は継続ケースに対して深い関わりをすれば主体的にアセスメントして考察ができ、一方で関わりが浅いと考察が進まないことを理解します。

卒業研究を通して、助産師としての今の自分はどこまでできて、何ができないのかを自己理解することが重要となり、過大評価せず事実をありのまま表現することが大切です。この誠実性が今後の医療事故防止や信頼関係等につながり、助産師として活躍するために必要だと考えています。卒業研究は、助産学生にとって集大成ですが、助産師としてスタートする好期になる重要な地点でもあります。

(助産学専攻科 教務主任/講師 中居由美子)

冬木学園を支えてくださるみなさんからのメッセージをご紹介します。

## 畿央大学との連携による広陵町 介護予防リーダー（KEEP）養成 から地域づくりへの試み

広陵町福祉課地域包括支援センター  
宮副 綾 さん



広陵町は、奈良県内では比較的若い方の多い町ですが、10年後における高齢化率の上昇が見込まれているため、住民の皆さんがいつまでも元気で、いきいきと暮らしていけるまちづくりをめざし、畿央大学と連携して介護予防の取り組みを行っています。

大学側には、キャンパスと介護予防に必要な専門知識を身につけるためのプログラムを提供していただき、介護予防と地域づくりの担い手を養成する講座を平成26年度に開催することができました。

KEEPとは、Korvo Elderly Encouragement Project「広陵高齢者元氣プロジェクト」の意味で、介護予防リーダー自身のことも指しています。養成講座修了後、介



## 娘の成長

### 村上 美紀 さん

畿央大学付属幼稚園  
ゆり組(年中)園児  
村上 芽衣ちゃん 保護者



娘は満3歳児クラスから付属幼稚園でお世話になっていきます。現在小学3年生になる長男もお世話になりました。

娘は入園当初はオムツもとれておらず、制服や体操服もたくさん裾上げをしていました。3歳で入園当時はまだ集団生活は早かったかなあと思った時期もありましたが、そんな心配をよそに音楽指導、体育指導、英語指導など付属幼稚園ならではの学びを通して、また、同級生や縦割り保育で遊んでもらう年上のお友達から良い刺激をたくさん受けて遊び方も話す内容もたくましく成長してきました。熱心に指導していただいた先生方には大変感謝しております。

来年度は母子共にとって園生活最後の年になります。運動会で年長組さんが披露していたマーチングや和太鼓に憧れ、自分が取り組むことにも意欲的です。中でも一番の楽しみは、年少のお友達のお世話をすることだそうです。「幼稚園楽しい？」と聞くときささず「楽しい！」と答え、毎日笑顔で通園する娘の姿を見るのが私の楽しみです。

## 後悔を糧に

### 鳴上 雄太 さん

関西中央高等学校 2015年卒業  
尾道市立大学経済情報学部1回生



私は現在、尾道市立大学に通い、学業に部活、アルバイトと忙しく充実した毎日を送っています。高校時代はバレーボール部に所属していましたが、1年生の時は部員が少なくまとまらな練習が出来ませんでした。3年生でようやく部員数がそろい、単独チームで公式戦に出場できるようになったものの、公式戦では勝利をあげられずに引退となりました。

自分がやってきたバレーボールが、何一つ満足できるものでなかったことに後悔がありました。また勉強に関しても自分がいかに努力不足であったか、大学に入学してから痛感させられました。

人間は辛くて嫌な事から逃げたくなる生き物です。でも、そこで頑張ることが出来るかどうかで今後の生き方が大きく変わってくると思っています。在学生の皆さんは毎日を漠然と過ごすのではなく、スポーツや勉強など何事にも真剣に向き合って悔いのない学校生活を送ってください。

## 「個」と「集団」 そして「つながり」

### 谷詰 真治 さん

畿央大学教育学部現代教育学科 2011年卒業  
京都市立大原野小学校 教諭



▲学生時代 教職クラブで撮影

ODEN(教職クラブ)、マミ・ポコ(地域の子とも遊ぶ活動)、キャンパ補助員等、多くのボランティア活動に明け暮れていた大学生生活から、卒業して早くも5年が経ちました。5年経った今、大学生生活の経験や先生方の教え、今もつながる仲間との学びが教職にある自分の強みとして大いに活かされ、子どもたちの成長につながる事ができていると実感しています。

今年度の長期宿泊・自然体験活動での子どもたちの振り返りに「しんどい登山に自分1人では絶対登りたくないけれど、みんなといっしょに登るから挑戦できたし、楽しく登ることができました。友だちに感謝しています。」とありました。「個」では難しくても、「集団」で活動することで困難に立ち向かい、「個」によりよい成長をもたらす。そんな「集団」の可能性を改めて感じました。教師をしている私自身も、仲間との横のつながり、恩師や先輩との縦のつながりをもっともつと広げ、深め、大切にして、子どもたちのためにより良い成長を続けていきたいです。

介護予防リーダーによって、住民主体の運動教室が立ち上がり、地域の高齢者に対する介護予防の普及啓発活動が活発に進んでいます。今年度も畿央大学の協力を得て、第2期生の養成講座を開催させていただきます。今後も畿央大学との連携を深め、KEEPが、地域の集いの場づくりや住民相互の助け合いができるまちづくりの担い手と発展していくことを目指していきます。

なお、KEEPは2015年度奈良介護大賞に輝きました。

※畿央大学と広陵町との連携については表紙のKAGUYAプロジェクトも参照ください。



# 私の先生

## 私の教え子

冬木学園では、豊かな知識や優れた技術を教えるだけでなく、心を通わせ、人としての生き方を伝えていく教育をめざしています。冬木学園各校で学んだ、学んでいる教え子と教員との交換メッセージをご紹介します。

**松本泉美** 先生 「畿央大学 看護医療学科 教授」  
**力溢れる先生**



**中嶋 優弥** さん  
看護医療学科2014年卒業  
大阪市立総合医療センター勤務

僕が松本先生と出会ったのは4回生の春、離島へき地医療体験実習のオリエンテーションです。先生の覇気に圧倒され、「なんや、この先生？声でかいなあ」と思いました。そして、離島実習の担当の先生となり、三重県の神島で、学生の仲間たちと松本先生と3泊を共にし、地域実習でもお世話になりました。実習を通して松本先生

の素顔を知り、「え、先生めっちゃ面白いやん」と思いました。それ以降は頻繁に先生の部屋に行っては雑談をしていました。部屋はいつも参考書や資料で溢れています。「先生の部屋溢れすぎやで」から始まる会話は30分から1時間は続きました。松本先生とは4回生での出会いなので、学生生活では1年しか関わりがなく、ゼミ生でもありません。離島実習と地域実習で関わっただけですが、今では半年に一回は会いに行っています。畿央大学のアットホームな環境のおかげで、たった1年でも親交が深くなったのだと実感し、卒業後も温かく迎えて頂き看護の原動力となっています。



**Comment**  
中嶋君とは、実習で一緒に過ごすご中で、私生活の事も含めよく話をしました。良い意味で素直で、人の話をきちんと聞ける学生でした。看護医療学科の10周年記念行事では、在宅看護実習での終末期看護を通して、「いのち」に寄り添うことの大切さについて一生懸命に語ってくれました。その言葉通り、現在も緩和ケアの現場で頑張っていることを大学に来て話してくれ、先輩に期待され、成長している姿に私も元気をもらっています。

**加藤 信喜** 先生 「畿央大学 人間環境デザイン学科 准教授」  
**出逢えたことに感謝**



**大野 若奈** さん(旧姓・岡村)  
人間環境デザイン学科2012年卒業

先生は、私の入学と同時に畿央大学に赴任されました。「お互いに1年生ですね。」と緊張しながら話したのが懐かしいです。とても気さくで話しやすい先生という第一印象でした。先生とは、ゼミでの活動が特に印象に残っています。店舗の改装提案をしたり、コンペに応募したりと私にとって初めての経験ばかりでした。ゼミでの色々

な経験が今の自分に繋がっていると思います。また、先生のご指導のおかげで在学中にインターアコーディネーターの試験に合格できました。卒業後も、仕事の事で悩んでいる私に「努力は必ず報われます。応援してますよ。」と親身に相談に乗って頂き、何度助けられたか分かりません。そして現在、結婚を機に仕事を退職しました。先生には結婚式にもご参列頂き、心のもった祝辞を頂戴しましたこと改めて御礼申し上げます。先生と出逢えたことに感謝して、今後も頑張っていきます。またカフェに行きましょう。



**Comment**  
我々が畿央大学に来たのは2008年の春、もう8年も経ったんですね。とりわけ頑張り屋さんの若奈さんは、文句の1つも言わず黙々とプロジェクトに取り組んでおられました。記念すべき畿央のインターアコーディネーター第1号になるなど本当に努力家でした。そんな教え甲斐のある学生と出逢えたことも何かのご縁だと思っています。若奈さんの結婚式では自分の娘が嫁ぐような気持ちになって、因らざるも目頭が熱くなってしまいました。

**林京子** 先生 「畿央大学 健康栄養学科 講師」  
**一番の恩師**



**林 泰地** さん  
健康栄養学科2015年卒業  
京都府立医科大学附属病院  
栄養管理部勤務

林先生との出会いは、2回生の時のK10元気塾です。一人で「減塩」についての指導を行うことになり、正直不安だらけでしたが、林先生の助けのおかげで、なんとか指導することができました。3回生の時には臨地実習があり、実習初日にたくさんの課題を出され、その日の夕方に大学まで飛んで帰り、林先生に助けていただきました。4

回生には、就職活動が始まりました。大学に入学する前からずっと病院への就職を夢見ていましたが、現実はその簡単に叶わず、一時期は就活から逃げていました。しかし、林先生は何度も募集を出している施設を紹介してくださり、3月末にはなんとか病院への就職が決まりました。本当に林先生のおかげです。思い返すと、実習、国家試験、就職など、困難に立ち向かうときには、いつも林先生がいて、いつも助けてくれていました。今の私があるのは林先生のおかげで、(他の先生方には申し訳ないですが)林先生が人生の中で一番の恩師です。



**Comment**  
林君は2回生の時、クラスでは1人だけ元気塾を担当していて、その姿を見た当時のゼミ生から「林君は必ず林ゼミに入れてあげて」と言われた事を思い出します。また、彼は責任感が強いだけではなく、部活(ジャグリング)を含め何事にも熱心に取り組んでいました。敢えて欠点を挙げるなら、やさすぎるところでしょうか?彼には、教え子というよりは、病院管理栄養士の後輩としての更なる飛躍を期待しています。

**大森 淳史** 先生 「関西中央高等学校 教諭 ソフトテニス部顧問」  
**かけがえのない部活動**



**梶谷 司** さん  
関西中央高等学校  
スタンダードコース3年

私は、関西中央高等学校に入学して、尊敬すべき先生方や、多くの仲間と出会い、多くのことを学ばせていただきました。

特に、部活動のソフトテニスでは、顧問の大森先生から、技術指導はもちろん、精神面の指導をしていただき、大会で結果を残すことのできる選手に育てていただきました。2年生、3年生と2年連続でインター1

ハイ出場し、県で選ばれた選手のみが出られ、ソフトテニスの甲子園と称されるハイスクールジャパンカップへの出場など、貴重な経験をさせていただきました。自分が思う存分部活動に専念し、充実して過ごせたのは、周りの方々の支えがあったからこそだという感謝の気持ちを忘れることなく持ち続け、日々の努力を積み重ねてきたことが良い結果につながったと考えています。私が関西中央高等学校での3年間で学んだことは、これからの自分の将来に大きく役立つと信じ、大学進学後も学んだことを活かし、日々頑張りたいと思います。



**Comment**  
中学時代から梶谷君のプレーは、非常に器用でありセンスを感じていました。入学してからは、何事にも努力を惜しまず文武両道を実践しました。1年生の県新人大会では、本校初の男子個人準優勝、2年生では個人でインターハイに出場し、主将としてチームを引っ張った3年生では、インターハイ団体出場を果たしてくれました。進学先の近畿大学でも活躍してくれることを期待しています。



畿央大学

- 4日(土) 後援会総会・保護者懇談会
- 11日(土)・12日(日) オープンキャンパス
- 25日(土) ニューロリハビリテーションフォーラム
- 26日(日) パックッキング講習会



オープンキャンパス

- 2日(日) 運動器リハビリテーションセミナー上肢・体幹編
- 7日(金) 現代教育研究所学びを結ぶワークショップⅢ
- 15日(土)・16日(日) オープンキャンパス
- 20日(木) 教職員のための夏の公開講座
- 29日(土) ひらめき☆ときめきサイエンス



ひらめき☆ときめきサイエンス

- 2日(水) 畿央大学シニア講座①
- 6日(日) オープンキャンパス
- 9日(水) 畿央大学シニア講座②
- 24日(水) 健康科学研究所プロジェクト研究成果報告会



シニア講座

10月

- 4日(日) オープンキャンパス
- 17日(土)・18日(日) 畿央祭・ウェルカムキャンパス・ホームカミングデー
- 24日(土)・25日(日) ニューロリハビリテーションセミナー機能編B



ウェルカムキャンパス

11月

- 8日(日) 運動器リハビリテーションセミナー下肢編
- 21日(土) 教育学研究科開設記念フォーラム
- 22日(日) オープンキャンパス



教育学研究科フォーラム

12月

- 2日(水) ナント元気企業マッチングフェア2015
- 5日(土)・6日(日) ニューロリハビリテーション研究会
- 6日(日) 畿央大学シニアキャンパス
- 20日(日) プレ・エントランスセミナー



ニューロリハビリテーション研究会

関西中央高等学校

- 2日(木) 「いのちの大切さ」教育講演会
- 14日(火) ～8月7日(金) 特進夏期講習
- 18日(土) 終業式
- 25日(土) 第1回オープンスクール



教育講演会

- 10日(月)～13日(木) 特進コース進学合宿
- 22日(土) 第2回オープンスクール
- 24日(月) 始業式
- 31日(月)～9月1日(火) 校内合宿教育(2年生)



夏期進学合宿

- 2日(水)～3日(木) 校内合宿教育(2年生)
- 4日(金) 文化講演会
- 7日(月)～8日(火) 校内合宿教育(2年生)
- 18日(金)・19日(土) 第52回蘭桜祭



文化講演会



蘭桜祭

- 2日(金) 体育祭
- 5日(月) 生徒会交代式
- 7日(水) 進路ガイダンス(2年生)
- 10日(土) 第1回入試説明会
- 29日(木) 校外授業(表現・情報コース1年生)



体育祭



生徒会交代式

- 4日(水) クリーンキャベイン
- 7日(土) 第2回入試説明会
- 14日(土) 保護者対象進路説明会(1年生) 表現・情報コース 天理市立西中学出前講演
- 25日(水) 大学バスツアー(1年生) 校外学習(3年生)
- 25日(水)～28日(土) 修学旅行(2年生)



修学旅行

- 1日(火) 「創設のころを偲ぶつどい」
- 5日(土) 第3回入試説明会
- 12日(土) 第1回入試対策説明会
- 20日(日) 桜井冬のプチ文化祭
- 22日(火) 終業式
- 26日(土) 第2回入試対策説明会



創設のころを偲ぶ集い

畿央大学付属幼稚園

- 1日(水)・14日(火) Kioオープンガーデン
- 3日(金) 七夕保育参観日
- 7日(火) 七夕まつり
- 11日(土) 親子交流会
- 17日(金) 第1学期終業式
- 18日(土)～19日(日) お泊り保育(年中組)



お泊り保育

- 4日(火)・21日(金) Kioオープンガーデン
- 25日(火)～28日(金) 夏期自由保育
- 29日(土) 清掃奉仕日



夏期自由保育

- 1日(火) 第2学期始業式
- 4日(金)～5日(土) 卒園旅行(年長組・国立菅岡青少年自然の家)
- 8日(火) Kioオープンガーデン
- 19日(土) 家族参観日
- 21日(月) 等禰神社奉納祭コンサート(年長組)



卒園旅行

- 11日(日) 運動会
- 21日(水) Kioオープンガーデン
- 22日(木) 秋の遠足(海遊館)
- 25日(日) バザー



運動会

- 10日(火)・28日(土) Kioオープンガーデン
- 12日(木) 警察・消防署訪問
- 27日(金) 子ども成長・造形展



子ども成長・造形展

- 3日(木) おもちつき大会
- 4日(金) 交通安全人形劇
- 7日(月) クリスマス会
- 15日(火) マラソン大会
- 22日(火) 第2学期終業式



クリスマス会

大学

幼稚園

高校

関西中央  
高等学校

## 大学・幼稚園との連携

方のプラスになっています。

一方、畿央大学付属幼稚園とは、高校生による幼稚園での絵本の読み聞かせ実習や部活の成果発表の場としてお誕生日会に参加、園児に高校の施設を利用してもらう等の連携を行ってきました。今後は双方と地域の発展のためにも、ますます活発な連携をしていきたいと考えています。



現在、畿央大学とは様々なところで連携を深めています。特に、高校生の身体の成長やケアおよび精神面について、大学の先生方に、生徒や保護者に役に立つ講演や授業を行っていただいています。今年度も入学者説明会で、健康栄養学科の永澤准教授が保護者に対して、栄養学の面から食事や睡眠等に関する生活管理について講演していただき好評でした。また、新入生対象に開催している「フレッシュマンキャンプでも」「部活動応援プロジェクト」の一環として理学療法学科の福本准教授に「トレーニングと怪我」、現代教育学科の東山教授に「前向きな高校生活を送るためのメンタル」について研修を行っていただきました。研修内容は学問的な見地に立った内容で理解しやすいものでした。

また、中学校との関係においても大学に協力体制を取っていただいています。先日、橿原市の公立中学校から「高校訪問福祉体験学習」の依頼があり、大学の支援により、中学1年生対象に義足についてのミニ講義と義足での歩行体験を行いました。受講した生徒たちは中学校では経験できないことを学び、様々なことを得たと思います。また、大学でどのようなことを学ぶのかに触れたことによって、将来のことを考える良い機会になったようです。同じ様に、中高生が同時に在籍する学習塾に本校と畿央大学の生の情報を伝えられることが、本校と大学両



畿央大学  
付属幼稚園

## 高校・大学との連携



関西中央高等学校とは、同じ桜井市内に所在するという立地的な面から、主に施設面でお世話になっています。毎月行っているお作法「茶道」では、高校の茶室を利用していただいて、本格的な茶道の練習ができています。1年間かけて、お茶を頂く作法はもとより、お菓子の出し方、抹茶をたててお茶を出すことまでを学びます。そして、最後のお作法の時間には、保護者を招いてお茶会を開催しています。自分の子どもにたててもらったお茶は格別な味がすると喜ばれています。

また、例年、高校の本館ホールをお借りして運動会を行うのも保護者の方に好評ですが、高校の部活動顧問の先生方の協力なしでは実施できません。予行練習と本番あわせて2日間お借りしますが、ラインを引いたり、ポイントをマーキングしたり、バスケットゴールを移動していただく等と本当に暖かいご支援をいただいています。

一方、畿央大学との連携は、毎月実施している身体測定に今年度から足指測定項目を加えました。これは、スポーツ医学を専門とされている理学療法学科福本准教授の「足指を鍛えることにより転倒防止や早く走ることができる」というアドバイスを取り入れたものです。福本先生から足指測定の測定方法をご指導頂き、日頃の保育でも足指を鍛える運動を取り入れ、成果を記録し年度末に結果を



分析する予定です。

7月の年中クラスのお泊り保育では、被服学を専門とする人間環境デザイン学科の村田准教授と学生さんのご協力により染色体験ができています。今年度はハシカチに草木染めに挑戦しました。また、カレー作りでは初めて包丁を持つ園児もいますが、健康栄養学科の柴田助教と学生さんに各テーブルに付いて野菜を切る体験のお手伝いをしていただきました。そのほか園での手作りおやつについても、食育の観点からレシピ開発や調理指導に関わっていただいています。

このように大学の付属幼稚園として、他園で出来ないことを実践できるのが本園の特徴です。今後も幼高・幼大連携を深めていきたいと思っています。

# 畿央大学の「？」が「！」になる1分間ムービー

新作!!

同窓会サロン2日目にご来場いただいた卒業生にも出演協力していただいたショートムービー「畿央大学のどこが好き？」が完成し、リリースされています。



**今回の新作**

- 『畿央大学ってどんな大学?』
- 『学生たちが作りあげる学園祭「畿央祭」ってどんな感じ?』
- 『在学生・卒業生 100人に聞きました! 畿央大学のどこが好き? Best 5!』



★初の英語版ムービー「Kio University, Japan」もご覧ください!

本編で紹介しきれなかった意見をあわせて100人全員の「好きなところ」を一挙公開中!

## 畿央大学附属幼稚園



幼稚園行事は、できるだけその日のうちにレポートをアップするようにしています! かわいい園児たちが生き生きと頑張る様子とどこか懐かしい幼稚園の雰囲気伝わってきて、とても癒されます。毎月のオープンガーデンのスケジュールもHPで確認できますよ。

## 関西中央高等学校

トップページのスライダーで関西中央高校の最新情報をキャッチ!



関中生107名の  
 mottoを公開  
 しています。



## 畿校会

畿央大学・畿央大学短期大学部・  
桜井女子短期大学同窓会

10月17日(土)・18日(日)に開催された第13回畿央史にあわせて、畿央大学・畿央大学短期大学部・桜井女子短期大学の卒業生対象に『同窓会サロン』を開設しました。

今年で7回目のサロンは、ホームカミングデーおよび同窓会行事として定着しています。今年もハロウィンパーティ風の会場を設け役員が交代で受付を行い、皆様をお迎えしました。

2日間あわせて290名もの卒業生の皆さんにお越しいただき、時折、先生方もサロンに来てくださり、懐かしい恩師や旧友との再会タイムを楽しみました。(畿央大学の卒業生257名、畿央短大17名、桜井女子短大16名)

また今回の同窓会サロンでは、卒業生アンケートを実施し、畿央祭2日目には大学で制作中の1分間ムービー『畿央大学のどこが好き?』の撮影にもご協力いただきました。皆さんからいただいた貴重なご意見は今後の大学運営に活かしていきたいと思えます。

ご来場いただいた皆様、ご協力いただき、本当にありがとうございました。



2016年の畿校会総会は、6月19日(日)です。

## 蘭友会

桜井女子高等学校・  
関西中央高等学校同窓会

### 同窓会総会のご案内

- 日時: 平成28年4月17日(日)午前10時
- 場所: 関西中央高等学校
- 総会: メモリアルホール
- アトラクション: 本館ホール
- 出演: 舞太鼓あすか組
- 懇親会: カトレア食堂(立食)

吐く息も白く冷たい季節でございますが、会員の皆様におかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、蘭友会は平成28年度で第50回の総会を迎えます。1期生の方は卒業後50年の歳月が過ぎたことになり、無事に50回総会を開催できることを誠に嬉しく思います。

恩師の先生方、会員の皆様、そして一生懸命に同窓会の運営に携わってくださった本部役員の力強いチームワークの賜物と感謝いたしております。

今年の総会が50回目の記念すべき会となるよう素晴らしい舞太鼓のアトラクションを用意し、みんなで祝いたいと思います。また、先生方や懐かしい友との語らいで、新しい思い出づくりをなさってください。何かとご多忙のこととは存じますが、一人でも多くの卒業生の皆様にご参加いただき、盛大な総会となることを楽しみにお待ちしております。



# 畿央大学で「知をみがく」

## 〜畿央大学での生涯教育メニュー〜

### 大学院

#### 健康科学研究科(修士課程) 2年間

リハビリテーション、看護学、健康栄養学、環境デザイン学の各分野で最先端科学を学び、追求したいテーマについて研究活動を進めます。「修士(健康科学)」の学位が授与されます。

#### 教育学研究科(修士課程) 2年間

いじめや不登校、特別支援教育、ICTを活用した教育方法・技術の開発等を理論的に学び、日頃の教育で直面している課題解決に向けて実践的に取り組みます。

### トピックス

教員免許状を取得していない方も教育学研究科に在籍しながら畿央大学教育学部の科目等履修をすることで小学校教諭、幼稚園教諭、養護教諭の免許取得が可能です。そのいずれかの免許状をすでに取得している特別支援教諭の免許も取得できます。必要な単位数によって長期履修(3年以上の在籍)が必要な場合がありますので事前にお問い合わせください。

#### 健康科学研究科(博士後期課程) 3年間

健康科学分野のより高度な研究に取り組み、世界に通用する博士号の取得をめざします。高度かつ指導的役割を果たす研究者、教育者、専門的職業人として活躍が期待されています。

### 科目等履修制度・聴講生制度

必要な科目、学びたい授業だけを選んで受講できます。単位取得が必要な「科目等履修制度」、単位取得が不要なら「聴講生制度」があります。(大学院の授業も受講可)

**申込期間** 前期科目(4月開講) 3月1日～10日  
後期科目(9月開講) 8月21日～30日

### 公募推薦入試結果

2016年度入試シーズンをむかえ、11月には前半戦のヤマ場となる公募推薦入試が実施されました。資格や就職に強い学部・学科の人気は全国的に継続中ですが、一方で同じような学科系統の新設が続いていることから、志願者が減少する大学も出てきています。畿央大学では公募推薦入試が2方式から1方式になったために、志願者数・合格者数ともにのべ人数では減少傾向でした。大学全体の倍率は昨年並みですが、学科によって志願者の増減や実質倍率にばらつきのある結果となっています。

理学療法学科の志願者数は前年比マイナス20%で、5学科中もっとも大きな減少となりました。ただし合格者数の減少で、倍率のダウンは小幅にとどまっています。看護医療学科の志願者数はマイナス9%で、2年連続の減少となりました。倍率も10.2倍→7.3倍→6.7倍と、かなり落ち着いてきました。管理栄養系系の志願者は女子大を中心にやや減少傾向で、健康栄養学科の志願者も6%の減少となりました。昨年大幅増の反動とも考えられます。ただし合格者数の減少で、倍率は昨年よりも上昇しています。現代教育学科でも同様で、志願者数は7%の減少となっていますが、昨年大幅に増えた合格者数が減少したために、倍率は逆に若干のアップとなりました。唯一の志願者増は人間環境デザイン学科で、2年連続で増加しています。倍率は大きく上昇し、また合格最低点も上がって、レベルもアップしたと考えられます。

### 大学院の入試について

9月に行われた大学院1期入試の志願者数は、健康科学研究科、教育学研究科を合わせると昨年より1名増加しました。健康科学研究科は今年も順調ですが、教育学研究科の志願者は1名で、設置後3年間で最も少なくなりました。2月には2期入試が実施されますが、問い合わせも徐々に増えてきているので志願者の増加が期待されます。専修免許状(小学校・幼稚園・養護教諭)の認可も順調で、募集につながると期待しています。

### 助産学専攻科の入試について

今年の助産学専攻科入試は内部からの進学希望者がやや少なく、推薦入試では7名の志願者にとどまりました。専攻科の受験資格は看護師免許を有し、4年制大学卒業の学位を持つ女性となっています。本学看護医療学科卒業生がそのまま進学することもできますし、他大学卒業見込者や、看護師経験者も入学可能です。受験しやすい2月の一般入試には、受験生からの問い合わせも増えてきているので、志願者増が期待できそうです。

### 畿央大学2016年度入試結果と概要

公募推薦入試結果(全日程の合計) (人)

学部	学科	募集人員	志願者			受験者		合格者		倍率	
			2016	2015	前年比	2016	2015	2016	2015	2016	2015
健康科	理学療法	29	443	553	80.1%	443	552	52	60	8.5	9.2
	看護医療	40	577	635	90.9%	567	632	85	86	6.7	7.3
	健康栄養	40	615	653	94.2%	613	648	71	85	8.6	7.6
	人間環境デザイン	22	270	207	130.4%	269	204	38	60	7.1	3.4
教育	現代教育	85	882	945	93.3%	880	939	140	160	6.3	5.9

※2015年度データにはプラス小論文方式を含む(2016年度は廃止)

#### 一般入試・センター試験利用入試日程

試験区分・日程	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日		
一般入試	前期A日程	1月21日(木)	本学/名古屋 /京都/大阪 /岡山	1月4日(月)～1月13日(水)	2月1日(月)	
	前期B日程	1月22日(金)	本学/京都/大阪			
	前期C日程	1月25日(月)	本学/大阪			
	中期日程	2月19日(金)	本学/大阪	1月25日(月)～2月10日(水)		2月25日(木)
	後期日程	3月10日(木)	本学/大阪	2月15日(月)～3月3日(木)		3月16日(水)
センター 利用入試	前期日程	—	—	1月4日(月)～1月13日(水)	2月6日(土)	
	中期日程	—	独自試験なし	1月25日(月)～2月10日(水)	2月25日(木)	
	後期日程	—	—	2月15日(月)～3月3日(木)	3月16日(水)	

#### 3年次編入学試験日程(教育学部)

試験区分	募集人員	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
後期日程	1名	2月7日(日)	本学	1月18日(月)～1月29日(金)	2月13日(土)

### 畿央大学大学院入学試験概要

#### 募集人員

課程	募集人員		修業年限
	1期	2期	
健康科学研究科修士	15名	5名	2年
健康科学研究科博士後期	3名	2名	3年
教育学研究科修士	7名	3名	2年

#### 入学試験日程

試験区分	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
2期	2月7日(日)	本学	1月18日(月)～1月29日(金)	2月13日(土)

### 畿央大学助産学専攻科入学試験概要

#### 入学試験日程

試験区分	募集人員	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
一般	3名	2月7日(日)	本学	1月18日(月)～1月29日(金)	2月13日(土)

### 専門職業人のリカレント教育

#### ニューロリハビリテーションセミナー(有料)

ニューロリハビリテーション研究センター主催の最先端の人気講座です。機能編A、機能編B、病態・臨床編の3編構成。

#### 運動器リハビリテーションセミナー(有料)

臨床に役立つ運動器リハについての最新情報を提供します。エビデンス編、上肢・体幹編、下肢編、臨床研究編の4編構成。

右記2つのセミナーは、毎年4月初めに年間の講座申し込みを受付します。詳細はHPでご確認ください。  
「専門理学療法士ならびに認定理学療法士資格取得および更新に関わる履修ポイント」が取得できます。

#### 特別講演会(無料)

同窓会が主体で、卒後教育を行っています。特に理学療法学科は、第一線で活躍されている理学療法士を講師に迎えて毎年講演会を開催しています。

#### 学校教職員のための公開講座(無料)

毎年夏休み期間に2～3講座を開講しています。奈良県立教育研究所や大阪府教育センターから現場の先生方へ告知される予定ですが、HPでもご案内します。

### 社会人向け公開講座

#### 畿央大学公開講座(無料)

毎年1～2月頃に2講座の開催を予定しています。今年度は2月6日(土)に開催します。

#### シニア講座(有料)

平成27年9月、地域のシニア世代を対象に「健康」と「教育」について学びを深めるための「畿央大学シニア講座」を実施しました。来年度も計画しています。

畿央大学HPには「学び」のチャンスがいっぱい！  
時々、のぞいてみてくださいね！

## 卒業関連行事

畿央大学

2015年度

### 人間環境デザイン学科 『卒業研究・作品展』

今年度も「卒業研究・作品展」を、奈良県文化会館で行います。2015年度卒業生の卒業研究・作品あわせて約43点が展示されます。ご来場をお待ちしております。

日時

2月27日(土) 10:00~18:00  
2月28日(日) 10:00~16:00

会場

奈良県文化会館 D展示室(入場無料)



昨年の卒業研究・作品展の様子

畿央大学附属幼稚園

### 生活発表会



昨年の生活発表会の様子

毎年恒例の生活発表会が今年も桜井市民会館で行われます。マーチング、オペレッタや和太鼓等、日頃の教育の成果をご覧ください。

日時

3月5日(土)  
9:00開演

会場

桜井市民会館  
(入場無料)

関西中央高等学校

### 表現・情報コース 卒業記念公演+習作 『鍵と道と歩く会』

演じる役の中に自分でも知らなかった自分自身がきっと潜んでいるはずだ。

- 1年生<習作>では「立体的な朗読」に挑戦します。
- 2年生<習作>では「集団創造」の可能性を模索します。
- 3年生は<卒業記念公演>三年間の集大成を披露します。

いつか、自分の考えを自分の言葉でいつでも話せるようになるために。まずは、大きくて強い声を獲得したい。それを手がかりに「演じる」という行為で遊んでみる。「PLAY IS PLAY.(=演劇は遊びだ)」



昨年の卒業記念公演の様子

日時

2月20日(土) 9:30~11:00

会場

檀原文化会館(入場無料)

## 冬木学園へのご支援のお願い

冬木学園は平成28(2016)年、学園創立70周年を迎えます。

これからも冬木学園は、建学の精神「徳をのばす 知をみがく 美をつくる」に則り、教育・研究・社会貢献への取り組みを強力に推進し、その社会的使命を全うし、永続的に発展していきたいと考えております。

つきましては、冬木学園の教育研究振興のため皆様からのご支援をお願いする次第です。冬木学園各校発展のため、格段のご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 税額控除の適用について

学校法人冬木学園に対する寄付は、寄付税額控除制度により、寄附者の方が「所得控除」または「税額控除」のどちらかを選択して、所得税の控除を受けることができます。詳細については、冬木学園HPをご参照ください。

### お申込み・お問合せ先

法人事務局総務部(担当:植村・竹本)

TEL:0745-54-1602 FAX:0745-54-1600 E-mail:soumu@kio.ac.jp